

1、現状の説明

(1)学生の受け入れ方針を明示しているか。

【大学全体】

本学は学生の受け入れ方針を HP 上で明示しており、自由に閲覧できるようにしている（資料 5-1 本学 HP 「教育研究を始めとする各種方針」）。具体的には、【文学部】【文学研究科】の項に記載する。なお、2015 年度入試からは、「入学試験要項（願書）」にも記載し、周知している。

障がいのある学生の受け入れに関しては、入学制度委員会が中心となって「障がいのある学生の受け入れ方針」（案）を作成し、大学運営会議に諮り決定した。その後、教授会および部課長会議で報告し、教職員で共有すると共に本学 HP 上で学外に向けて公表している（資料 5-2 本学 HP 「障がいのある学生の受け入れ方針」）。

【障がいのある学生の受け入れ方針】

入学希望者によって記入されたインテークシートの内容、また事前の入学希望者と学科並びに関係部署との話し合いに基づき、本学は可能な限り、障がいのある学生を受け入れる。

【文学部】

文学部の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、2013 年 6 月に一新し、2014 年度から、本学 HP に明示している（資料 5-3 本学 HP 「大谷大学 学生の受け入れ方針（文学部）」）。教職員には、教授会および部課長会議で報告し、共有している。

【大谷大学 学生の受け入れ方針】

- (AP1) 高等学校で履修する国語、地歴・公民、数学、外国語などについて、高等学校卒業相当の知識をもつ。〔知識・理解〕
- (AP2) 物事をじっくり時間をかけて考察し、自分の考えをまとめることができる。〔思考・判断〕
- (AP3) 人間や人間をとりまく事柄について、自発的な関心から思索しようとする意欲をもつ。〔関心・意欲〕
- (AP4) 日本語を使用して、自分の考えを的確に表現することができる。〔技能・表現〕

また、各種入学試験は、それぞれの制度のねらいに応じて、(AP1)～(AP4)の1つ、又は複数の項目に該当することを一覧表にして明示している（資料 5-3）。

【文学研究科】

文学研究科の学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）は、2013 年 6 月に一新し、2014 年度から、本学 HP に明示している（資料 5-4 本学 HP 「大谷大学大学院文学研究科 学生の受け入れ方針（修士課程・博士後期課程）」）。教職員には、教授会および部課長会議で報告し、共有している。

修士課程では、下記のような人物の入学を求めている。

【大谷大学大学院文学研究科 学生の受け入れ方針】

修士課程

第5章 学生の受け入れ

【大谷大学】

- (AP1) 専攻学問分野と関連領域の基礎的知識を有している。〔知識・理解〕
(AP2) 自らの研究対象について多角的な視点から、論理的に考察できる。〔思考・判断〕
(AP3) 専攻学問分野における学問的探究に強い意欲をもっている。〔関心・意欲〕
(AP4) 専攻学問分野の探究を始めることができる読解力と表現力を有している。
〔技能・表現〕

博士後期課程では、下記のような人物の入学を求めている。

【大谷大学大学院文学研究科 学生の受け入れ方針】

博士後期課程

- (AP1) 専攻学問分野と関連分野に関する高度な専門知識を有する。〔知識・理解〕
(AP2) 自らの学問的問題を計画的、継続的、系統的に探究できる。〔思考・判断〕
(AP3) 専攻学問分野に貢献する学問的問題の発見と探究に意欲をもっている。
〔関心・意欲〕
(AP4) 専攻学問分野の高度な探究に必要な読解力と表現力を有している。〔技能・表現〕

また、各種入学試験は、それぞれの制度のねらいに応じて、(AP1)～(AP4)の複数の項目に該当することを一覧表にして明示している（資料 5-4）。

(2)学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。

【大学全体】

本学の入学試験は、多様な特性を持った学生を選抜できるよう、各学科において複数の入試方式を導入している。入学試験の具体的な内容は、【文学部】【文学研究科】の項目に記載する。

学生募集に関しては、大学案内やそのほかのパンフレットの作成、各種進学情報媒体への記事掲載、オープンキャンパスの開催、高校内ガイダンスの実施、高等学校訪問を行っている。広報の内容については、大学の理念を十分に伝えることができるよう内容を毎年精査して実施している。

また、障がいのある学生の受け入れについては、障がいのある学生の受け入れ方針に基づき、事前に「障がいについての予備調査シート（インテークシート）」を作成して面談を行い、入学試験時の配慮を行っている。配慮内容は大学入試センター試験時の配慮を原則に、論述試験等、本学特有の制度に合わせて決定している（資料 5-5「障がいについての予備調査シート（インテークシート）」）。

【文学部】

文学部の学生の受け入れ方針は前述のとおり、(AP1)～(AP4)の項目を挙げており、これらの方針に基づいて、入学試験を実施している。

第1学年入学のための入学試験制度は、自己推薦入試、公募制推薦入試、指定校制推薦、一般入試 [第1期]・[第2期]、一般入試 [大学入試センター試験利用入試] 前期・後期である。各入学試験制度では以下の内容で判定を行っている。

- ・ 自己推薦入試－1200字の自己推薦書、面接

第5章 学生の受け入れ

【大谷大学】

- ・ 公募制推薦入試－A方式 高等学校の評定平均値、小論文
－B方式 高等学校の評定平均値、英語・国語
- ・ 指定校制推薦－課題図書の読書、小論文、面接
- ・ 一般入試〔第1期〕－英語、国語、地歴・公民（世界史、日本史、現代社会）の3教科又は英語、国語の2教科
- ・ 一般入試〔第2期〕－英語、国語の2教科
- ・ 一般入試〔大学入試センター試験利用入試〕前期・後期－大学入試センター試験の得点〔外国語、国語、地歴・公民・数学（選択）〕

また、公募制推薦入試においては、福知山・金沢・名古屋・津・彦根・草津・大阪・岡山の各学会会場を、一般入試〔第1期〕においては、福知山・金沢・浜松・名古屋・彦根・草津・大阪・姫路・岡山・広島・高松・福岡の各学会会場を設置し、受験生の負担を軽減するとともに、遠方に居住するために受験が困難な受験生への受験機会の提供に努めている。

各入試制度の実施にあたっては、試験の透明性を確保するため、入試情報の公開を積極的に行っている。まず入学試験終了後に問題冊子の持ち帰りを認めている。入学試験結果（合否・得点）については、暗証番号を設定した情報公開システムにより個人宛てに公開するとともに、進路指導の必要上、高等学校への開示も行っている。ただし、個人情報保護には十分な配慮が必要であるため、高等学校への開示は本人にその可否を確認のうえ行っている。また、入学試験ごとの志願者数・受験者数・合格者数・入学者数、入学試験・学科ごとの合格最低点・平均点等を公表し、透明性と信頼性の確保に努めている。

なお、第1学年への入学制度以外にも、文学部第3学年への編入学制度として、一般編入学、推薦編入学、外国人推薦編入学、社会人編入学の各入学試験制度を設け、多様な学生を受け入れている。

【文学研究科】

文学研究科の学生の受け入れ方針に基づき、以下の入学試験制度を設けている。各入学試験制度では以下の内容で判定を行っている。

修士課程

- ・ 一般入試（秋季・春季）－外国語、専門、面接
- ・ 学内推薦－文学部からの推薦、小論文、面接 ※修士課程教育・心理学専攻に限る
- ・ 社会人入試－小論文、面接
- ・ 外国人留学生入試－日本語、専門、面接

博士後期課程

- ・ 一般入試（春季）－外国語、専門、面接
- ・ 外国人留学生入試－日本語、外国語、専門、面接

また、大学院社会人入試による入学者を対象として、職業を有すること等の事由により修業年限で修了することが困難な者に、標準修業年限を超えて計画的に履修することを認める長期履修学生制度を設けている。3年ないし4年の計画的な履修を認めるとともに、2年間の学費等の総額を許可された履修期間で納入することを認めている（資料 5-6「大谷大学大学院長期履修学生制度規程」）。

(3)適切な定員を設定し、入学者を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

【大学全体】

大学全体および各学科の入学者数、在籍学生数が入学定員・収容定員と大幅にかい離することがないように、学長会が全学的な視野に立ち、学科・専攻ごとの入試制度別合格者数原案を策定している（資料 5-7「学長会及び大学運営会議規程」）。その原案は、学科主任会議や教授会・大学院委員会に諮られ慎重に合否判定を行っている（資料 5-8「学科主任会議規程」、資料 5-9「大谷大学教授会規程」、資料 5-10「大谷大学大学院委員会規程」）。

学部・学科並びに研究科・専攻ごとの適切な入学定員・収容定員の設定については、入学制度委員会で検証するとともに、大学運営会議・学長会に諮り、学科との協議を経て教授会・大学院委員会で決定する（資料 5-11「入学者選考規程」、資料 5-12「入学制度委員会規程」）。

【文学部】

文学部における過去5カ年の入学定員に対する入学者数比率の平均は1.07で、適正に管理できている。また単年度ごとの状況は、2012年度の0.99を除き1.01から1.15と適正な範囲内で推移している（資料 5-13「入学定員に対する入学者数比率」大学・短大）。

各学科における過去5カ年の入学定員に対する入学者数比率の平均は、真宗学科(0.95)と仏教学科(0.67)が1.00を割り込んでいる。そのほかの学科は1.00~1.23となっており適正な範囲内で推移している（資料 5-13）。

真宗学科は、2012年度(0.90)と2013年度(0.76)に1.00を割り込むも、2014年度には1.01に改善している。一方、仏教学科は、2010年度から2014年度5カ年連続して1.00を割り込んでいる。

文学部における過去5カ年の収容定員に対する在籍学生数比率の平均は1.11で適正に管理できている。また単年度ごとの状況は、1.05から1.18と適正な範囲内で推移している（資料 5-14「収容定員に対する在籍学生数比率」大学・短大）。

各学科における過去5カ年の収容定員に対する在籍学生数比率の平均は、仏教学科(0.90)を除き、1.06~1.21となっており適正な範囲内で推移している。

【文学研究科】

文学研究科における2014年度の収容定員に対する在籍学生数比率平均は、修士課程0.56、博士後期課程0.67となっており、収容定員の充足はできていない（資料 5-15「収容定員に対する在籍学生数比率」大学院）。

(4)学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。

【大学全体】

本学が実施する入学者選抜は、総括委員を学長が任命し、その総括委員が各種入試問題の作成段階から実施段階にいたるまでを統括し厳正に実施している。

学生募集については、入学センターが実務担当部署として募集計画を立案し、入学制度

第5章 学生の受け入れ

【大谷大学】

委員会において協議を行い、大学運営会議において決定し、その計画に基づき学科と事務局が協同して実施する（資料 5-12）。

これらが公正かつ適切に実施されているかについての検証は、入学制度委員会において毎年行っている。

【文学部】

学生募集および入学者選抜の定期的な検証は、入学制度委員会が行っている。入学センターがまとめた各種統計データをもとに、入試実施翌年の 5～6 月に検証し、次年度に向けた強化施策・改善事項を取りまとめる。2014 年度入試からは、学生の受け入れ方針を 2013 年 6 月に一新したことを受け、方針に基づいた学生募集と入学者選抜が公正かつ適切に実施出来ているかについての検証も合わせて行っている。次年度に向けた強化施策・改善事項については、大学運営会議に上程し、承認の後、教授会で報告・共有を行っている。

【文学研究科】

学生募集および入学者選抜の定期的な検証は、入学制度委員会が行っている。入学センターがまとめた各種統計データをもとに、入試実施翌年の 5～6 月に検証し、次年度に向けた強化施策・改善事項を取りまとめる。2014 年度入試からは、学生の受け入れ方針を 2013 年 6 月に一新したことを受け、方針に基づいた学生募集と入学者選抜が公正かつ適切に実施出来ているかについての検証も合わせて行っている。次年度に向けた強化施策・改善事項については、大学院運営委員会に諮り、大学運営会議に上程・決定し、大学院委員会で報告・共有を行っている（資料 5-16「大谷大学大学院運営委員会規程」）。

2、点検・評価

●基準 5 の充足状況

教育目標に基づき、学生の受け入れ方針を定めている。あわせて入試方法の整合性・適切性が図れるよう一覧表を作成している。これらの方針および一覧表は、学内で共有するとともに、広く学外に発信し、公正な機会を図ることができるよう努めている。また学生募集および入学者選抜の適切性については、入学制度委員会で検証する体制を整えている。以上のように、本学では学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っている。

学部・学科における過去 5 カ年の入学者数比率・在籍学生数比率の平均は、真宗学科・仏教学科を除き概ね適正に管理できている。また大学院文学研究科における 2014 年度の在籍学生数比率は、博士後期課程真宗学専攻・仏教学専攻を除き、ほとんどの専攻において定員を充足できていない。これらは全学的な課題として、大学院委員会において改善方針の検討を進めている（資料 5-10）。

①効果が上がっている事項

（多様な学生の受け入れ）

長期履修学生制度は、学生の事情により標準修業年限を超えて計画的に履修することを認める制度であり、本学では大学院社会人入試において実施している。2013 年度から開始

第5章 学生の受け入れ

【大谷大学】

した本制度は、2年間で4名が利用しており、介護や就業といった事情を抱えつつも大学院での高度な学修を希望する受験生のニーズに応える制度となっている。

（受験生に対する公正な機会の保証）

本学を受験する障がいのある学生は増加傾向にあり、今まで以上に受け入れ体制や修学支援体制を整備することが急務となっている。そうした状況を背景として、「障がいについての予備調査シート（インテークシート）」を準備し、共通のフォームにより障がいの状況の確認、配慮内容の検討が行えるようになった。また障がいのある受験生が不安を解消して相談・受験ができるように「障がいのある学生の受け入れ方針」を策定した。

②改善すべき事項

（多様な学生を受け入れるための各種入試制度の改善）

多様な学生を受け入れるにあたって、入学試験における資格取得やボランティア活動への評価は、自己推薦入試において参考にしているが、点数化を行っていない。

また留学生の受け入れにおいては、大学院外国人留学生入試・第3学年外国人留学生推薦編入試は制度化しているものの、大学の第1学年に外国人留学生を受け入れる制度がなく、修学・学生生活支援環境の整備とともに検討する必要がある。

（定員未充足）

仏教学科の入学定員に対する入学者数比率の推移は、2010年0.93、2011年0.98、2012年0.57、2013年0.48、2014年0.38と近年急速に悪化している。5カ年の平均についても0.67となっている。また大学院では、修士課程・博士後期課程の全専攻において入学定員が確保できていない。また、2013年4月に新設した教育・心理学専攻にあっては、開設初年度から入学定員の確保ができていない。

3、将来に向けた発展方策

①効果が上がっている事項

（多様な学生の受け入れ）

長期履修学生制度は大学院でのみ実施している。入学制度委員会において大学入学者に関する需要について検証し、学部段階における制度実施の必要性について取りまとめる。

（受験生に対する公正な機会の保証）

障がいのある受験生に対する公正な機会を保証するために、入学センターが中心となっ
て行っている高等学校への説明会の機会等を通じて、本学が障がいのある受験生に対する
事前相談の機会を設けていることを周知する。このことにより、当該受験生に受験前に事
前相談の機会があることを知ってもらえるようにする。そして、当該受験生に本学環境の
確認や受け入れ方針を早い段階で知ってもらえるように、オープンキャンパスへの参加を
促し、具体的に本学の受験を考えるに際し、早めに事前相談の機会を設けることができ
よう取組を強化していく。

②改善すべき事項

（多様な学生を受け入れるための各種入試制度の改善）

入学制度委員会において、2015年度以降の多様な学生を受け入れる各種入試制度の改善
方策を集中的に審議し、2014年度末までに取りまとめる。

第5章 学生の受け入れ

【大谷大学】

(定員未充足)

仏教学科の現状の改善については、2015年4月にむけて、入学定員を60名から25名の適正規模に変更する学則変更届を行う。あわせて、2014年5月に発足した大学総合企画委員会において、社会や学生のニーズに照らし、各学科の教育目標、人物養成目標、カリキュラムを刷新し、教育機能を強化するための学科の改編計画を検討した(資料5-17「大学総合企画委員会規程」)。2014年10月に答申としてまとめ、それを受けて学長会で、今後の具体的な方策を検討する。

大学院の入学定員の確保については、大学院委員会において、社会や学生のニーズにてらし、各専攻の教育目標、人物養成目標、カリキュラム等の刷新を図り、教育機能を強化していくとともに、適正規模への定員の見直しを図る。

特に、高度職業人養成課程である教育・心理学専攻については、文学部教育・心理学科における指導体制の見直し、卒業生の学び直し機会の設定および適正規模への定員の見直しを検討する。

4、根拠資料

資料 5-1 本学 HP 「教育研究を始めとする各種方針」(既出 (3-1))

<http://www.otani.ac.jp/annai/nab3mq000003cn7u.html>

資料 5-2 本学 HP 「障がいのある学生の受け入れ方針」

<http://www.otani.ac.jp/annai/nab3mq000003cn7u-att/nab3mq000003corz.pdf>

資料 5-3 本学 HP 「大谷大学 学生の受け入れ方針 (文学部)」

<http://www.otani.ac.jp/annai/nab3mq000003cn7u-att/nab3mq000003cos4.pdf>

資料 5-4 本学 HP 「大谷大学大学院文学研究科 学生の受け入れ方針 (修士課程・博士後期課程)」

<http://www.otani.ac.jp/annai/nab3mq000003cn7u-att/nab3mq000003cost.pdf>

資料 5-5 「障がいについての予備調査シート (インタークシート)」

資料 5-6 「大谷大学大学院長期履修学生制度規程」(既出 (4(2)-6))

資料 5-7 「学長会及び大学運営会議規程」(既出 (1-15))

資料 5-8 「学科主任会議規程」(既出 (3-11))

資料 5-9 「大谷大学教授会規程」(既出 (3-2))

資料 5-10 「大谷大学大学院委員会規程」(既出 (3-3))

資料 5-11 「入学者選考規程」

資料 5-12 「入学制度委員会規程」

資料 5-13 「入学定員に対する入学者数比率」大学・短大

資料 5-14 「収容定員に対する在籍学生数比率」大学・短大

資料 5-15 「収容定員に対する在籍学生数比率」大学院

資料 5-16 「大谷大学大学院運営委員会規程」(既出 (3-21))

資料 5-17 「大学総合企画委員会規程」(既出 (2-9))

資料 5-18 大谷大学・大谷大学短期大学部入学試験要項 2014 年度

資料 5-19 大谷大学・大谷大学短期大学部指定校制推薦入学実施要項 2014 年度 (一般校)

資料 5-20 大谷大学・大谷大学短期大学部指定校制推薦入学実施要項 2014 年度 (関係学校)

第5章 学生の受け入れ

【大谷大学】

- 資料 5-21 大谷大学文学部第3学年一般編入学入学試験要項 2014年度
- 資料 5-22 大谷大学文学部第3学年社会人編入学試験要項 2014年度
- 資料 5-23 大谷大学文学部第3学年推薦編入学実施要項 2014年度（大谷大学短期大学部・九州大谷短期大学）
- 資料 5-24 大谷大学文学部第3学年推薦編入学実施要項 2014年度（関係短大・仏教系短期大学）
- 資料 5-25 大谷大学文学部第3学年外国人留学生推薦編入学試験要項 首都師範大学 2014年度
- 資料 5-26 大谷大学文学部第3学年外国人留学生推薦編入学試験要項 東北師範大学 2014年度
- 資料 5-27 大谷大学大学院文学研究科（修士課程・博士後期課程）入学試験要項 2014年度
- 資料 5-28 大谷大学大学院文学研究科（修士課程）学内推薦入学試験要項 2014年度
- 資料 5-29 大谷大学大学院文学研究科（修士課程）社会人入学試験要項 2014年度
- 資料 5-30 大谷大学大学院外国人留学生入試要項 2014年度
- 資料 5-31 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項 2013年度後期
- 資料 5-32 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項 2014年度前期
- 資料 5-33 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項〔東北師範大学〕2013年度後期
- 資料 5-34 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項〔首都師範大学〕2013年度後期
- 資料 5-35 大谷大学文学部外国人留学研究生選考実施要項〔浙江財経学院〕2013年度後期
- 資料 5-36 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項〔中央民族大学チベット学研究院〕2013年度後期
- 資料 5-37 大谷大学文学部外国人留学研究生選考実施要項〔東國大學校〕2014年度前期
- 資料 5-38 大谷大学文学部外国人留学研究生選考実施要項〔東西大學校〕2014年度前期
- 資料 5-39 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項〔東國大學校〕2014年度前期
- 資料 5-40 大谷大学大学院外国人留学研究生選考実施要項〔東西大學校〕2014年度前期